

報道関係者各位

2016年4月22日

一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会

## **ソフトウェアメトリクス調査 2016年版発表**

本調査は2004年度より開始し、開発、保守、運用の三分野において調査を実施してまいりました。このたび、4月下旬の報告書発刊に先立ち、調査結果のトピックスをご紹介します。

### **■調査概要**

調査期間は、2015年11月12日～2015年12月18日。JUAS会員企業を中心に調査を実施し、開発：新規追加111件、合計1275件、保守：新規追加73件、合計744件、運用：新規調査42社、について分析を行った。

### **■調査結果概要**

(添付図表参照)

#### <開発>

開発調査では、従来のマクロ分析からデータを開発形態（新規、再開発）、開発方法（ウォーターフォール、アジャイル、ERP）、プログラム自動生成の使用有無、の3区分により層別し、各々の特性を抽出した。

またFP（function point）、LOC（lines of code）の加えて画面数、帳票数をベースにした分析を実施し、工数・コストのもととなる指標の充実を図った。報告書はより利用しやすいように目次体系を見直した。これらの改善により、さらにソフトウェアメトリクスの利用が進むことを期待している。

#### <保守>

保守調査では、保守コストダウンの期待に応えるためいかに保守作業者が努力しているか、などの実践的指標も公開している。

#### <運用>

運用調査では、運用コストの見える化、PDCA管理、相関指標、適正化判断等に利用できるように調査内容を大幅に刷新した。JUASプロジェクトで考案した運用コストを「JUAS：IT運用コストモデル」をもとに調査・分析を実施し、運用コストの体系的整理を試みた。

※調査結果は、添付図表をご参照ください。

### **■本リリースに関するお問い合わせ先**

一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 担当：井上、五十井（いかい）

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-4-8 ユニゾ堀留町二丁目ビル8階

SWM 調査事務局メール：swm-juas@juas.or.jp